



2023年11月10日

各 位

会 社 名 株式会社 ユニバンス  
代表者名 代表取締役会長兼社長 鈴木 一和雄  
(コード番号7254 東証スタンダード市場)  
問 合 せ 先 執行役員 藤 崎 一  
(TEL. 053-576-1311)

2024年3月期第2四半期連結業績予想と実績との差異  
及び通期連結業績予想の修正、  
並びに剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年5月12日の「2023年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」において公表した2024年3月期第2四半期累計期間（2023年4月1日～2023年9月30日）の業績予想と、本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。併せて、本日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、2023年5月12日公表の2024年3月期通期（2023年4月1日～2024年3月31日）の連結業績予想を修正することとしましたのでお知らせいたします。

また、同取締役会において、2023年9月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）について決議し、加えて今回の連結業績予想の修正に伴い2024年3月期の期末配当予想について修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2024年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績との差異  
(2023年4月1日～2023年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 23,000	百万円 500	百万円 500	百万円 300	円 銭 14.40
今回実績 (B)	24,993	1,366	1,480	1,105	53.07
増減額 (B-A)	1,993	866	980	805	
増減率 (%)	8.7	173.3	196.0	268.5	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2023年3月期第2四半期)	23,899	321	504	275	13.25

<差異の理由>

当第2四半期の売上高は、顧客への販売が想定を大幅に上回ったことに加え、円安に伴う為替換算影響により予想を上回りました。利益面については、売上高増加影響に加え、製品保証引当金について顧客との負担金額の按分割合の変更を受け見積りの変更を行った結果2億90百万円の戻し入れが発生したこと等により、営業利益、経常利益、および親会社株主に帰属する四半期純利益は前回予想を大きく上回ることとなりました。

2. 2024年3月期通期連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 46,000	百万円 1,200	百万円 1,200	百万円 900	円 銭 43.21
今回予想（B）	50,000	2,500	2,600	1,700	81.61
増減額（B－A）	4,000	1,300	1,400	800	
増減率（%）	8.7	108.3	116.7	88.9	
（ご参考）前期実績 （2023年3月期）	48,601	1,146	1,095	787	37.83

<修正の理由>

通期の連結業績予想につきましては、上半期の業績が予想を大幅に上回ったこと、また下半期についても顧客への販売及び為替が上半期並に推移すると見込まれることから、売上高および営業利益以下の利益を上方修正いたしました。

3. 剰余金の配当（中間配当）および期末配当予想

(1) 剰余金の配当（中間配当）の内容

	決定額	直近の配当予想 (2023年5月12日公表)	前期実績 (2023年3月期)
基準日	2023年9月30日	同左	2022年9月30日
1株当たり配当金	円 銭 5.00	円 銭 3.00	円 銭 3.00
配当金総額	104百万円	—	62百万円
効力発生日	2023年12月11日	—	2022年12月9日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 期末配当予想の修正

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想 (2023年5月12日)	円 銭 3.00	円 銭 4.00	円 銭 7.00
今回予想		5.00	10.00
当期実績	5.00		
（ご参考）前期実績 (2023年3月期)	3.00	4.00	7.00

<理由>

当社の利益配分に関する基本方針は、常に企業価値を向上させることにより、株主利益の増大を目指すとともに、経営の基盤と収益力の強化に努め、収益と財務のバランスを図りながら、継続的な配当を実施していく事であります。

長期化するウクライナ情勢等によりエネルギー・原材料価格の高止まりは続く予想され、また中国の景気後退に関する懸念も継続しており、当社を取り巻く環境は先行き不透明な状況が続くと想定されます。しかしながら、上半期の業績および下半期の業績予想を勘案した結果、当期の剰余金の中間配当につきましては、前回予想から1株当たり2円増配の5円とし、期末の配当予想につきましても、1株当たり1円増配の5円に修正いたします。これにより中間配当を含めた1株当たり年間配当金は10円となる見込みです。

※上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以上